

あいち農産物生産流通レポート

平成30年6月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 食品ロス削減に向けた取組について	(食育消費流通課) 1
◎ 地域トピックス	
・ 「全国公設地方卸売市場協議会第47回通常総会」が豊田市で開催されました	(豊田加茂農林水産事務所) 3
・ 新城市で新しいトマト選果機が導入されました	(新城設楽農林水産事務所) 4
◎ 東日本情報	
・ 市場や量販店で起こるいちじくの問題について	(東京事務所) 5
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の6月の見通し(県内市場)	20

※今月、「西日本情報」、「フラワーページ」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」

<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>

名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

食品ロス削減に向けた取組について

食育消費流通課

まだ食べられるのに捨てられている「食品ロス」。農林水産省・環境省の推計によると国内で年間 646 万トン（平成 27 年度推計）あると言われています。これは、国民一人当たりの量に換算すると、およそ茶碗 1 杯分の量の食べ物が毎日捨てられていることになります。

食品ロスはスーパー、コンビニや飲食店などの食品関連事業者からだけでなく、約半分は家庭から出ています。

本県では、このような「もったいない」食品ロスを家庭から減らすため、平成 29 年度に研修会や調理講習会等の取組を実施しました。

1 「あいちエコ食スタイル研修会」の開催

平成 29 年 11 月 2 日（木）に、「あいちエコ食スタイル研修会」を開催し、愛知県食育推進ボランティアや行政関係者等 55 名の方に御参加いただきました。

研修会当日は、まず、愛知工業大学の小林富雄教授から「食育と食品ロス」と題し、基調講演をいただきました。

基調講演では、「欲しい物が売り切れだと、店から消費者が離れてしまう。それを防ぐため、過剰に仕入れるといったビジネスモデルが採用されている。」など、消費者の心理に基づく行動が食品ロス発生の原因の一つになっているという話や、「食に対する畏敬の心を持つことが大切」といった食育の目線からの食品ロス削減の心構えなどについてお話しいただきました。

その後、管理栄養士でもある至学館大学の伊藤正江准教授から「野菜まるごと栄養学」と題し、講演をいただきました。

買い物から片付けまでの全体を通して野菜を丸ごと使い切るためのポイント・メリットや廃棄する部分の活用方法などについて、具体例を挙げながらお話しいただきました。



基調講演の様子

2 「あいちエコ食スタイル調理講習会」の開催

無駄や廃棄の少ない調理について実践しながら学んでいただくため、「あいちエコ食スタイル調理講習会」を公益社団法人愛知県栄養士会（以下「栄養士会」という。）と連携して合計 4 回開催し、愛知県食育推進ボランティアや愛知県消費生活モニターなど 77 名の方に御参加いただきました。

当日は栄養士会の竹内和子氏の指導のもと、「野菜の皮ごとクリーム煮」、「ブロッコリーの茎カレーきんぴら」等 5 品の調理実習を行いました。



調理実習の様子

栄養士会が考案したこのメニューは、生ごみの発生量が通常の1/10程度となる環境に優しいメニューであるだけでなく、栄養バランスや減塩にも配慮した健康にも優しいものになっており、参加者からは喜びの声があがっていました。

その後、栄養士会の渡邊薫氏から「食品ロスを減らしましょう」と題し、生活場面において食品ロスを出さないためのポイントなどについて具体例を挙げながらお話しいただきました。

レシピ 「野菜の皮ごとクリーム煮」



【材料（4人分）】

じゃがいも…200g	バター…10g
たまねぎ…100g	小麦粉…大さじ1
にんじん…60g	コンソメ顆粒…4g
ピーマン…60g	牛乳…200ml
	こしょう…少々

1. ジャがいもはよく洗って芽を取り、一口大に切る。たまねぎは薄切り、にんじんは皮ごといちちょう切り、ピーマンは種・ヘタごと乱切りにする。
2. 鍋にバターを入れて熱し、1を入れて炒める。よく炒めたら、小麦粉を入れてよく混ぜる。
3. 牛乳とコンソメを少しずつ混ぜながら加え、中火で野菜が柔らかく、とろみがつくまで煮る。（※強火にしないように注意）
4. こしょうで味を調える。

研修会及び調理講習会の参加者からは、「これまで知らず知らずのうちに無駄にしていたものがこんなにあったのかと気付かされた。」「調理講習会で学んだ料理を地域での料理教室で紹介したい。」といった意見が聞かれました。

3 「あいちエコ食スタイル 今日から始める 20tips」の改訂

県民の方々に「もったいない」を意識してもらい、できることから取り組んでいただけるよう、暮らしの中でできるちょっとした工夫を20項目にまとめた啓発リーフレットを改訂しました。

野菜をむだなく使う切り方や、エネルギー節約になる調理法、調理講習会で実習したレシピなどを掲載しています。

ぜひ、リーフレットを御覧いただき、無理なく始められることから実践してみてください。

※本リーフレットはWebサイト「食育ネットあいち」に掲載していますので、ダウンロードして御活用ください。

URL : <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/info/pamphlet.html#20tips>



リーフレット表紙

これらの取組をきっかけに食品ロス削減の動きが県民の皆さん一人一人に広まることを期待しています。

「全国公設地方卸売市場協議会第 47 回通常総会」が 豊田市で開催されました

豊田加茂農林水産事務所

全国の公設地方卸売市場（61 開設者・72 市場）で組織する全国公設地方卸売市場協議会（以下「協議会」という。）の第 47 回通常総会が、平成 30 年 5 月 17 日（木）に豊田市で開催され、全国の市場担当者 47 名の他、来賓・関係者を含む 59 名が参加しました。

1 協議会の状況

豊田市での総会は、平成 9 年度に開催された第 26 回通常総会以来、21 年ぶりの開催でしたが、この 21 年間で協議会の会員市場は、平成 9 年度の 94 市場から 40 市場の退会、18 市場の加入（22 市場の純減）を経て、その顔ぶれが大きく変貌しました。

退会の理由は、民営化によるものが主なもので、他方、加入の理由も、中央卸売市場の再編による地方卸売市場への転換によるものとなっています。

青果物の卸売市場経由率が、74.6%（平成 9 年度）から 60.2%（平成 26 年度）へと落ち込むなど市場環境に明るい兆しが見えない中、地方公共団体にとっては、他市場との情報共有や農林水産省への要望など、協議会活動は大変有意義なものとなっています。

2 講演内容

附帯行事として記念講演が開催されました。

始めに来賓としても招かれた農林水産省卸売市場室の武田裕紀室長が「卸売市場法等改正について」と題し、5 月 17 日現在、国会で審議中である法律の改正案について解説しました。

次に卸売市場政策研究所の細川允史代表が「新制度卸売市場のあり方と展望」と題し、新制度である認定制卸売市場について総括的に解説しました。

細川代表は、新制度では卸売行為での自由度が高まること、具体的には、「卸売業務における取扱品目の部類の設定がなくなることから、青果卸売業者が米や水産物を扱うことが可能になる。さらに卸売の相手先の制限がなくなることから、大口消費者を含む第三者への販売も可能となる」とし、「高速道路の I C や道の駅などと連動させた観光施設化も活性化の一つの方策である」と提言されました。

3 新制度に向けた協議会の取組

新制度での市場運営は、各市場の主体性に委ねられることとなりますが、公設地方卸売市場としての最低限の役割等を明確にするため、協議会としては独自の業務規程例を策定することが決議されました。



武田室長による講演



細川代表による講演

新城市で新しいトマト選果機が導入されました

新城設楽農林水産事務所

新城設楽管内の中山間地域では、夏の冷涼な気候を活かして夏秋トマトが栽培されています。本年、JA愛知東では、同産地の新城市作手地区で、機能を強化した新しいトマト選果機を導入しました。平成30年3月に竣工し、6月から荷受けを開始する予定です。

1 導入までの経緯

新城市では、農山漁村振興交付金を活用し、作手地区で「夏秋トマト」及び「ほうれんそう」のハウス整備に取り組み、新規就農者の確保、生産者所得の向上による同地区への定住促進を進めてきました。

一方、JA愛知東トマト選果場においては、平成6年に導入した選果機の老朽化、新規就農者の増加や栽培技術の向上等による生産量増により、既存の設備では選果が追いつかない状況となっていました。

そこでJA愛知東が取組主体となって、平成29年度産地パワーアップ事業を活用し、選果機の機能強化を行いました。



作手地区で栽培中のトマト

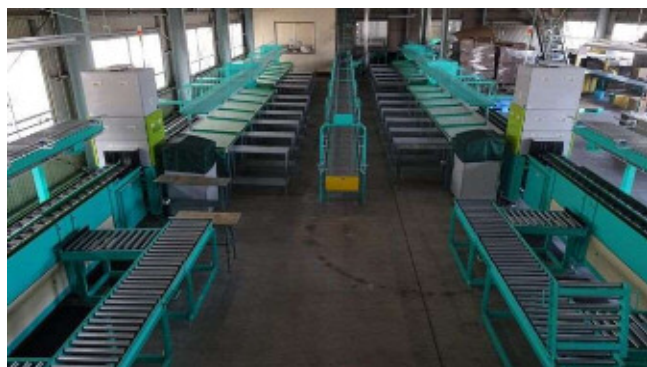
2 新選果機の概要

新選果場では、選果レーンを1本から2本に増強するとともに、新たな外部品質センサ付きカメラを導入することで、時間当たりの選果量の増加、選果精度の向上が図られます。

この施設整備により、生産量727t、販売額2億5千万円を目指します(表1)。

表1 産地パワーアップ事業を活用したトマト選果機の事業計画

	事業開始前	事業目標 (平成31年)
農家数(戸)	20	26
生産量(t)	494	727
ピーク時出荷量(t/日)	12	20
販売単価(円)	339	350
販売額(百万円)	167	254



導入された選果機



外部品質センサ

市場や量販店で起こるいちじくの問題について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

東京都中央卸売市場では、4月から愛知県産ハウスいちじくの入荷が本格的に始まり、東日本情報でも先月の記事で同市場におけるいちじくの入荷状況等を紹介しました。今回はいちじくの有利販売に向け、市場や量販店で発生している問題点をお伝えします。

1 市場入荷後に発生しやすい3つの問題点

愛知県産いちじくは、日本一の生産県として、高い品質と安定した入荷量により市場でも重要な地位を占めていますが、これは裏を返せば市場から常に品質の保持管理について厳しくチェックされる立場にあるとも言えます。

このような状況の中、現在、市場入荷の荷で問題となりやすいのが、入荷開始初期から梅雨期のハウス栽培で目立つ「着色のばらつき」、高温乾燥条件下での露地栽培で多発しやすい「アザミウマ」、多雨の年の露地栽培に多い「腐敗やカビ」です（図1）。

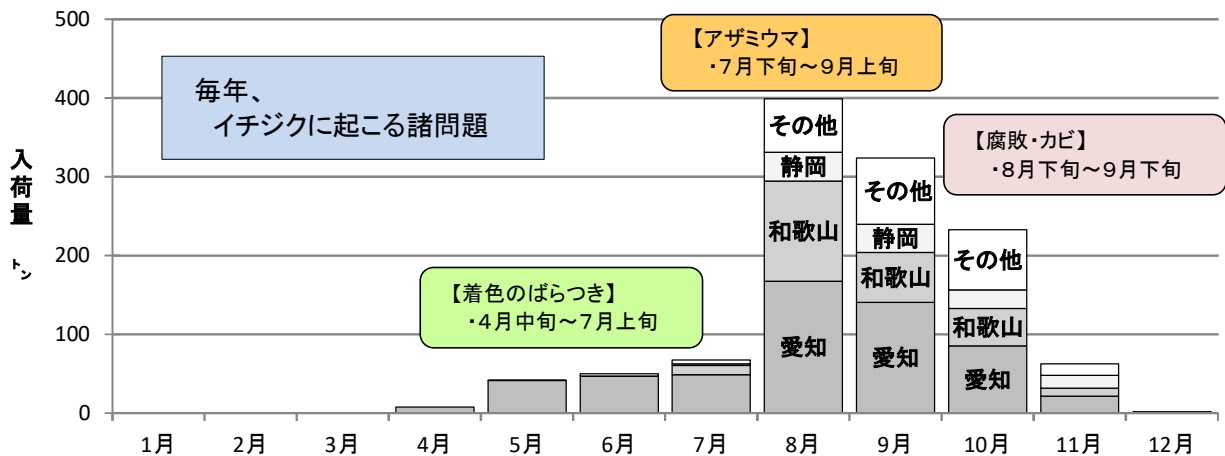


図1 東京都中央卸売市場における月別入荷量と時期ごとの問題点

(1) 入荷開始初期の着色のばらつき

これは1個1個の着色の問題ではなく、同じ等級の中で着色が不揃いであることが問題となります。上位等級の中に下位等級が混在することや、同じ上位等級でも産地ごとに差や優劣があることが問題となっています。

また、仲卸会社からは、「ウチは愛知県産しか扱わないが、5月は着色や入荷量が安定しないため、まだ得意先の料理屋や量販店には紹介しない」との話も聞かれました。愛知県の荷があてにされる一方で、「着色揃い」と「入荷量」という不安定要素により、取り扱いを見合わせる仲卸会社もあり、せっかくの商機を逸していることが伺えました。

増産努力とともに、少ない生産量の中で「着色揃い」を確保して信頼を得るには産地間の協力が欠かせず、県内他産地の出荷規格や品質についての情報を共有する必要性が感じられました。



各産地の上位等級品（秀品）のばらつき

（２）アザミウマの加害による果実内部の変色

アザミウマの怖さは、市場や流通段階ではその被害が顕在化せず、末端の消費者段階で初めて被害の発生がわかることです。その結果、消費者がいちじくの購入を控えることになれば、多くの需要を失うことにもなります。

ただ、この問題は栽培技術で改善できる部分が大きく、生産者各々がしっかりと表1のような管理対策を実施すれば被害の発生を減少させることができます。

表1 露地栽培いちじくのアザミウマ対策一覧

<p>【品種・樹勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品種更新：サマーレッドへの改植や高接ぎ更新 <p>【園内環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反射マルチ：白色マルチ等の反射資材でマルチング（全面積の7割以上、5月末～） ・除草：生育初期から園内、園周囲の除草を徹底 <p>【薬剤防除】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点防除：5月下旬から7月上旬にかけての集中防除

（３）露地栽培いちじくの腐敗・カビ

最も一般的なクレームの原因です。出荷時は問題ない荷から市場到着あるいは販売時に腐りやトロケ、カビが発生します。出荷時の外観による判断が難しいのも事実ですが、降雨後や高温下で収穫した果実に多発する傾向があり、不良条件での収穫に対する意識の違いから産地や生産者で発生頻度に差が出ます。卸売会社や量販店では、腐敗やカビの多い生産者を把握しており、購入時の判断基準にもしています。

雨よけ栽培の導入のほか高温・降雨時の収穫を避けて速やかな予保冷に努めるなど、細心の注意が必要です。



カビの発生したいちじく

2 今やれることを

パッキングセンターでの集荷とパック詰め（バラ受け共選）、新品種育成・導入などの取組は、今回の問題を大きく改善する手段として期待されますが、各産地への普及には時間もかかります。まずは、今できることを取り組んでみてください。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 16 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：おおば）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
29年実績	268	241 (90%)	3,110	3,169	高知 (5 %) 大分 (3 %) 茨城 (1 %)
30年見通し	285	—	3,000	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>入荷量の9割程度を占める愛知は、作況が良く、数量も安定しており、今後も順調な入荷を見込む。また、市場ではシーズン契約の割合が増加傾向にあり、入荷量の増減がなだらかになっている。安定した入荷と価格が期待される反面、大きな値上がりは起こりにくい状況にある。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>小売店等からも安定供給の要望が強い品目である。本年は作柄良好で、契約出荷も増えていることから、安定した数量が供給されているが、今後も作付面積を維持し、安定出荷の継続をお願いしたい。 現状は品質面も安定しており、梅雨や温度の上がる時期も引き続き品質の維持を望む。併せて、パック詰め時等の異物混入にも注意いただきたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
29年実績	2,958	313 (11%)	1,000	1,225	佐賀 (71%) 長崎 (5 %) 大分 (5 %)
30年見通し	2,950	—	1,000	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>冬期の低温とそれを原因とした着色不良等で、5月上旬までの入荷量は前年を下回ったが、中旬以降は前年を上回って推移した。各産地とも7月から8月にピークを合わせ、現状の入荷量も増加しているため、6月の入荷は不足感なく推移する見込み。なお、6月はS中心で、7月からは階級が上がる見通し。品質についても各産地良好と期待されている。 入荷量、価格はともに前年並の見込み。</p>			<p>品質的に安定しているハウスみかんは、底堅い需要がある。また、盆時期を始め、5月から8月にかけてのギフト商材としての引き合いが強い。 なかでも愛知産は、他産地よりも良食味で、品質も安定しており、果物専門店や量販店などからの信頼が高い。反面評価も厳しいので、出荷にあたりこれまで以上に浮皮や着色などに注意して選果してほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	30,328	208	198	219	203	愛知 23%
	26年	31,518	220	217	213	223	長野 18%
	27年	32,650	251	252	256	242	茨城 9%
	28年	30,484	256	261	262	239	長崎 6%
	29年	31,384	243	235	243	239	熊本 5%
	5ヵ年平均	31,273	236	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	30,100	236	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、長野を中心に入荷する。高冷地等に産地が切り替わる時期となるが、高温による前進傾向で、出荷終了及び開始時期が早まる見通し。極端な天候不順もなく、順調な入荷を見込む品目が多い。 入荷量は前年並で、単価は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	25年	1,614	82	77	77	99	青森 46%
	26年	1,666	83	82	83	91	愛知 29%
	27年	1,829	78	67	85	90	北海道 15%
	28年	1,562	96	86	105	103	岐阜 4%
	29年	1,392	110	88	134	117	長野 2%
	5ヵ年平均	1,613	89	79	95	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,500	90	70	90	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森を中心に愛知、北海道などから入荷する。5月の主要産地である愛知は適度な気温と雨により、入荷が前進化している。後続産地の青森も同様に前進傾向。一方で北海道はやや遅れ気味。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
にんじん	25年	1,150	141	131	143	155	岐阜 46%
	26年	1,275	128	117	133	145	徳島 12%
	27年	1,339	196	193	217	177	青森 9%
	28年	1,447	151	145	167	148	和歌山 8%
	29年	1,349	143	138	146	148	兵庫 8%
	5ヵ年平均	1,312	152	145	162	155	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,300	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岐阜を中心に、徳島、青森などから入荷する。4月まで高値が続いたが5月のGWを境に下落し、単価は平年並に落ち着く。岐阜は当初生育遅れが予想されたが、好天にも恵まれ、順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	127,634	220	208	220	232	千葉 16%
	26年	128,251	234	221	237	246	茨城 16%
	27年	131,719	262	252	268	266	長野 10%
	28年	126,267	259	268	280	259	群馬 8%
	29年	130,803	258	247	270	258	青森 5%
	5ヵ年平均	128,935	247	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	132,000	240	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主要品目の中心産地は西南暖地から高冷地・北海道に移行する。天候不順による影響が懸念された東北産地も平年並に出る模様。高冷産地は前進傾向。梅雨による乱れはあるが入荷量は確保される見通し。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	25年	7,634	84	79	77	99	青森 57%
	26年	8,241	79	73	77	87	千葉 19%
	27年	8,504	82	68	88	91	北海道 17%
	28年	7,878	93	82	106	102	栃木 3%
	29年	8,071	109	81	143	112	茨城 2%
	5ヵ年平均	8,066	89	76	98	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	8,100	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉は切り上がり及早まる見込み。後続の青森、北海道も融雪が遅く、播種への影響が出ており、月初めは端境気味となる懸念がある。中旬以降は後続産地からの荷も潤沢に入ると見込まれ、価格も落ち着く。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回るが平年以上となる見込み。							
にんじん	25年	6,453	138	137	143	136	千葉 76%
	26年	6,678	132	143	133	122	埼玉 6%
	27年	7,103	170	191	182	143	青森 5%
	28年	7,490	131	136	136	121	北海道 3%
	29年	6,941	142	144	143	139	茨城 3%
	5ヵ年平均	6,933	143	150	148	132	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,100	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉を中心に埼玉、茨城から入荷する。冬場の低温・乾燥により生育の遅れとばらつきがあったが、遅れは平年並まで回復。後続の青森、北海道の入荷も順次始まり不足感はないとみられる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
はんぱい	25年	1,597	62	55	77	60	長野 88%
	26年	1,417	84	74	82	102	茨城 11%
	27年	1,540	118	130	134	98	
	28年	1,663	76	94	96	57	
	29年	1,614	87	75	99	91	
	5ヵ年平均	1,566	85	86	98	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,600	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、茨城からも入荷する。4月に価格が大きく下落したが、現在は持ち直す。茨城は切り上がり早く、6月入荷は少ない見通し。長野は若干前倒し傾向だが生育良好で、順調な入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
キヤベツ	25年	3,384	95	73	114	102	茨城 47%
	26年	3,800	80	69	74	96	愛知 34%
	27年	4,236	87	95	85	84	長野 9%
	28年	3,529	108	106	122	100	秋田 2%
	29年	3,658	88	83	88	94	宮崎 2%
	5ヵ年平均	3,721	91	85	96	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,600	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、愛知を中心に、長野、群馬などから入荷する。茨城、愛知は高温傾向のため前進化しており、中旬以降の入荷は減少する見通し。後続の長野、群馬の生育状況は順調で、平年より7～10日早い。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	25年	221	555	463	577	677	岐阜 68%
	26年	203	565	484	543	690	茨城 15%
	27年	261	589	574	593	599	長野 7%
	28年	248	619	624	618	615	愛知 6%
	29年	245	642	626	712	615	群馬 2%
	5ヵ年平均	236	596	559	611	636	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	240	620	620	620	620	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜を中心に茨城、長野、愛知などから入荷する。岐阜は天候次第で入荷状況が大きく変わる時期となるが、5月現在の生育は順調で、前年並の入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

5月31日現在

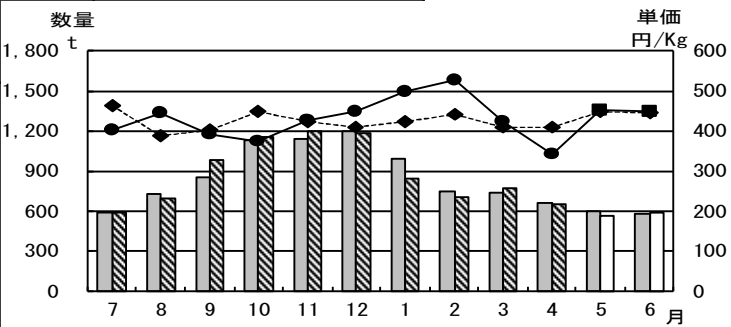
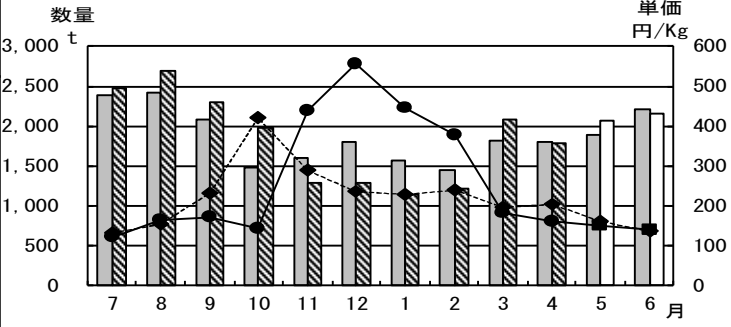
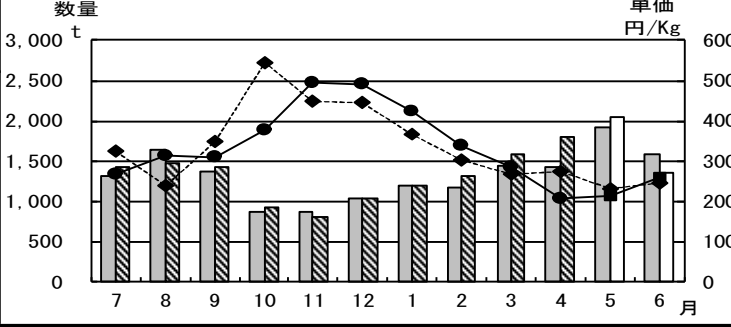
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
は く さ い	25年	5,197	57	38	73	59	長野 48%
	26年	5,397	79	59	76	99	茨城 34%
	27年	5,681	111	96	135	95	群馬 18%
	28年	6,037	72	74	88	55	山梨 1%
	29年	6,292	72	47	83	85	
	5ヵ年平均	5,721	78	63	91	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,000	60	65	60	55	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>連休まで好天に恵まれ気温が上昇したことで入荷開始が早まったが、その後の朝晩の低温により前進傾向の生育も元に戻る。主力の長野、群馬は5月末から入荷を始め6月中下旬にはピークを迎える。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は大幅に下回る見込み。</p>					
キ ャ ベ ツ	25年	13,580	81	69	88	87	千葉 39%
	26年	14,420	71	61	63	92	茨城 31%
	27年	16,267	79	76	75	87	群馬 9%
	28年	15,278	94	85	106	92	愛知 7%
	29年	15,325	78	74	76	85	神奈川 5%
	5ヵ年平均	14,974	81	73	82	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	15,000	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城など関東主要産地の生育が進む一方、後続の群馬、長野の高冷地産地も生育が前進して潤沢な入荷を見込む。好天が続いたため害虫被害が散見されるが、各産地とも対応を始めている。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほ う れ ん そ う	25年	1,286	443	400	408	561	群馬 35%
	26年	1,370	446	350	454	565	茨城 29%
	27年	1,434	492	508	473	501	栃木 14%
	28年	1,315	478	492	476	468	岩手 10%
	29年	1,311	490	493	532	446	岐阜 4%
	5ヵ年平均	1,343	470	449	469	508	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,300	450	450	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>連休明けの低温により生育の鈍化が懸念されたが、その後の好天により概ね生育が順調な産地が多い。主力の群馬、茨城では6月は十分な量が確保され、大雨の影響を受けていた岩手も下旬に向け量を増やす。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	704	424	408	421	464	愛知 25%
	26年	676	401	401	398	410	大分 21%
	27年	654	471	480	489	472	茨城 10%
	28年	581	498	514	516	495	静岡 9%
	29年	584	446	447	449	447	鳥取 7%
	5ヵ年平均	640	446	448	452	457	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	590	450	450	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青ねぎは愛知など、白ねぎは大分、茨城などが中心となる。愛知はやや遅れているが、前年並の入荷を見込む。大分の結束品は2週間ほど遅れており、入荷時期はずれ込むか。茨城は順調な見通し。 入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>					
し	25年	2,070	108	139	105	106	長野 98%
	26年	2,155	144	140	150	154	愛知 1%
	27年	2,219	153	169	156	153	山梨 1%
	28年	2,118	144	188	146	133	
	29年	2,201	136	145	151	120	
	5ヵ年平均	2,152	137	156	142	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,150	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野の準高冷地が中心となる。長野は3月の天候に恵まれて定植時期が早まり、生育も平年と比較してかなり前進している。作柄は良好で、順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
きゅう	25年	1,461	268	274	253	291	愛知 28%
	26年	1,574	251	217	275	280	長野 26%
	27年	1,549	235	193	261	267	群馬 13%
	28年	1,396	275	276	261	293	高知 13%
	29年	1,593	247	236	261	246	埼玉 8%
	5ヵ年平均	1,514	255	238	262	275	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,350	260	260	260	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、長野、群馬、高知などから入荷する。4、5月は天候に恵まれ入荷量が増加した。長野や群馬などでは成り疲れて6月は例年より少ないか。冬春産地は終盤に入るため、下級品の増加が予想される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	4,332	409	360	416	453	茨城 63%
	26年	4,371	397	403	420	365	千葉 23%
	27年	4,382	468	459	465	480	中国 5%
	28年	4,184	494	512	488	482	埼玉 4%
	29年	4,222	447	423	451	470	栃木 3%
	5カ年平均	4,298	443	431	448	450	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,300	450	450	450		
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>主力となる茨城、千葉とも生育は順調。両県産地とも5月下旬からピークを迎えており、6月中旬までは潤沢な入荷が見込まれる。一部産地では、さび病、アザミウマの被害が出ている模様。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>						
し	25年	8,673	112	127	105	106	長野 74%
	26年	7,991	148	133	151	159	群馬 20%
	27年	8,591	152	150	152	154	岩手 3%
	28年	8,988	142	180	139	119	茨城 2%
	29年	8,826	132	137	146	115	千葉 1%
	5カ年平均	8,614	137	146	138	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	8,600	115	120	115	110	
し	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>この時期の入荷量の大半を占める長野、群馬は、天候に恵まれ前進傾向。生育順調で入荷の多かった前年に近い情勢となる。6月中旬頃に出揃い、下旬にはピークを迎えるが、天候次第の面もある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は平年及び前年をかなり下回る見込み。</p>						
きゅうり	25年	6,853	270	278	246	296	埼玉 28%
	26年	7,069	268	220	320	271	群馬 21%
	27年	7,760	224	198	242	232	福島 13%
	28年	7,324	267	255	250	302	茨城 9%
	29年	7,569	257	250	282	239	千葉 8%
	5カ年平均	7,315	257	239	268	267	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,500	260	210	260	310	
きゅうり	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>関東産地が軒並み前進傾向で切り上がりも早まる予想。中下旬にかけ後続の東北産が出揃うまでの端境があるが、こちらも早ければ中旬には増量する見込み。天候良く雨少なければハダニの発生も懸念される。 入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	1,067	254	251	263	257	愛知 38%
	26年	1,270	282	284	278	286	熊本 30%
	27年	1,148	347	353	355	352	宮崎 21%
	28年	1,030	353	380	368	321	高知 5%
	29年	1,142	331	339	333	323	徳島 2%
	5ヵ年平均	1,132	313	320	318	308	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,050	340	340	340	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本、宮崎を中心に入荷する。愛知、熊本などの冬春産地は前倒し傾向で、6月の大きな入荷増はない見通し。愛知の夏秋作の入荷も始まるが、数量は少ない。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ト マ ト	25年	1,660	240	214	271	255	愛知 32%
	26年	1,923	208	204	188	251	熊本 32%
	27年	1,866	279	266	280	297	三重 15%
	28年	1,525	297	284	311	299	岐阜 14%
	29年	1,700	272	254	252	312	北海道 3%
	5ヵ年平均	1,735	258	243	258	282	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,700	260	260	260	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に三重、岐阜などから入荷する。冬春産地が終盤となり、夏秋産地の入荷が始まる。冬春作は前進傾向で、愛知、熊本、岐阜の夏秋作は順調な生育。全体では順調な入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	25年	479	526	445	553	599	熊本 44%
	26年	506	514	505	467	548	愛知 35%
	27年	495	594	592	583	612	北海道 9%
	28年	473	651	639	692	627	和歌山 8%
	29年	565	607	582	607	640	宮崎 2%
	5ヵ年平均	504	579	553	580	606	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	500	600	600	600	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に北海道、和歌山などから入荷する。愛知、熊本の冬春産地は終盤に入り、品質低下が予想される。中下旬からは北海道に切り替わるが、雪害でハウスが潰れ、出荷減を見込む地域もある。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	25年	4,294	310	297	303	335	高知 38%
	26年	4,787	347	327	357	356	群馬 16%
	27年	4,859	363	354	370	366	福岡 14%
	28年	4,681	400	411	420	366	茨城 8%
	29年	5,485	354	347	375	342	栃木 7%
	5カ年平均	4,821	356	348	366	353	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,900	360	350	350	380	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>高知、群馬、福岡などからの入荷が中心となる。目立った問題なく概ね生育順調で入荷は平年並となる。梅雨に入っても天候が良ければ増加傾向が続くが、月末には落ち着くと見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						
ト	25年	9,286	249	226	263	262	栃木 24%
	26年	9,536	234	215	228	266	熊本 17%
	27年	9,608	292	276	299	308	千葉 11%
	28年	9,120	297	281	305	307	茨城 11%
	29年	8,788	306	272	299	356	愛知 10%
	5カ年平均	9,268	275	254	278	299	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	9,300	290	260	290	320	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、関東近郊、愛知からの入荷中心。各産地とも日照量が確保され生育は順調。中心階級は産地でMSまたはLサイズと分かれるが、概ね肥大良好との判断が多い。端境予想されるも、下旬には後続が繋ぐ。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
ミ	25年	1,966	447	396	476	476	熊本 32%
	26年	2,106	439	439	427	452	愛知 21%
	27年	1,922	556	556	559	554	千葉 11%
	28年	1,837	599	583	636	579	茨城 11%
	29年	2,028	578	545	566	628	宮崎 7%
	5カ年平均	1,972	522	502	530	537	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,100	560	540	550	590	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知、関東近郊からの入荷が中心となる。茨城は生育順調で中心階級はL、2Lと見込まれる。潤沢な入荷により価格は前年を下回るが、手堅い需要を背景に安定基調になると予想される。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回るが平年以上となる見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	571	259	211	305	377	茨城 39%
	26年	610	239	217	267	309	高知 31%
	27年	651	335	341	355	366	宮崎 28%
	28年	605	329	315	346	351	北海道 1%
	29年	682	295	290	303	333	
	5ヵ年平均	624	292	277	316	347	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	650	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に宮崎、高知から入荷する。茨城の春作は概ね順調な生育。宮崎、高知の冬春産地は4、5月の出荷量が多く、成り疲れがみられる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
ばれいしょ	25年	2,823	95	94	98	95	長崎 68%
	26年	2,475	122	127	124	119	静岡 18%
	27年	2,697	223	213	211	253	熊本 8%
	28年	2,224	213	231	216	199	愛知 2%
	29年	2,517	154	146	151	168	鹿児島 2%
	5ヵ年平均	2,547	160	160	158	166	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,600	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎を中心に静岡、熊本などから入荷する。長崎はやや遅れているが5月下旬にはピークを迎える。生育は順調で大玉傾向。6月入荷は前年並となる見通し。後続の静岡も順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	3,259	74	73	84	67	愛知 57%
	26年	3,879	96	101	95	94	兵庫 23%
	27年	3,831	115	121	129	96	北海道 18%
	28年	4,132	115	125	107	130	中国 1%
	29年	4,527	90	97	90	83	熊本 1%
	5ヵ年平均	3,926	99	104	101	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,000	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に兵庫、北海道などから入荷する。愛知は出だしが若干遅れていたが、6月は順調な入荷を見込む。兵庫の淡路島も目立った病害虫はなく順調な状況。 入荷量は前年をかなり下回るが平年並となり、価格は前年並となる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	2,701	272	362	259	202	茨城 81%
	26年	2,440	250	214	256	287	高知 9%
	27年	2,499	334	343	349	306	宮崎 5%
	28年	2,408	347	342	347	351	岩手 3%
	29年	2,610	339	324	341	355	千葉 1%
	5ヵ年平均	2,532	308	318	310	299	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,500	330	340	330	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に高知、宮崎などからの入荷となる。冬場の低温で遅れた高知、宮崎の残量が残る中、主力の茨城は促成型が終盤となり、半促成型はピークを迎える。生育順調で平年並の入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回るが平年以上の見込み。</p>					
ばれいしょ	25年	10,682	101	96	104	105	長崎 49%
	26年	8,784	128	132	127	124	静岡 13%
	27年	8,138	239	221	237	272	千葉 10%
	28年	7,694	207	225	208	182	茨城 10%
	29年	9,043	148	149	146	148	熊本 8%
	5ヵ年平均	8,868	160	159	160	162	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	9,100	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎を中心に静岡、千葉、茨城からの入荷となる。長崎は生育遅延あるも大玉傾向で順調な入荷見通し。静岡も好天が続きし玉中心の豊作傾向。千葉、茨城も生育は順調で潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	15,134	65	64	67	66	佐賀 34%
	26年	10,705	110	107	104	118	香川 13%
	27年	10,087	130	125	129	138	兵庫 11%
	28年	8,342	146	143	149	148	栃木 8%
	29年	10,441	101	104	99	99	北海道 8%
	5ヵ年平均	10,942	105	103	104	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	11,000	90	80	90	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀、兵庫、香川からの入荷が中心となる。佐賀では概ね順調な生育だが、一昨年に入荷を減らす原因となったベト病が発生し、懸念材料となっている。兵庫、香川は中生種に切り替わり玉伸びも良好。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年及び平年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

※「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

5月21日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	9,381	337	347	353	349	愛知 20%
	26年	8,640	354	355	358	350	フィリピン 17%
	27年	8,677	381	377	371	394	熊本 17%
	28年	7,626	416	409	417	416	青森 10%
	29年	7,774	406	400	400	442	ニュージーランド 6%
	5ヵ年平均	8,419	377	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	8,200	390	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心に、ぶどう、ももど の入荷も増加していく。ももは入荷が前 倒しし、6月入荷量は前年を大きく上回 る見通し。ぶどうも1週間ほど早く、果 実全体で生育が前進傾向にある。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前 年をやや下回る見込み。						
その他メロン (アールスメロン以外)	25年	1,074	288	302	299	320	熊本 44%
	26年	1,190	301	288	292	323	愛知 24%
	27年	1,233	307	358	304	271	茨城 17%
	28年	934	310	346	301	289	メキシコ 10%
	29年	872	323	360	313	311	長崎 3%
	5ヵ年平均	1,061	305	329	301	302	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	900	320	360	320	300	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、愛知、茨城が入荷の中心となる。 4月は入荷が少なく大幅な高値だったが、 現在は入荷も増え、売れ行きは良くない。 作付面積は減少しているが、好天に恵まれ 肥大もよく、6月入荷は前年より多いか。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年 並となる見込み。						
す	25年	2,241	204	207	210	195	愛知 48%
	26年	2,607	198	227	208	168	熊本 30%
	27年	2,403	185	228	187	152	鳥取 12%
	28年	2,253	192	229	190	167	和歌山 5%
	29年	2,468	188	215	172	175	石川 3%
	5ヵ年平均	2,394	193	221	193	171	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,500	180	200	170	170	
いか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知、熊本を中心に鳥取などから入荷す る。メロン同様に4月は入荷減の高値だ った。好天による入荷の前倒しと数量増が 予想され、作付面積減を合わせて概ね前 年の入荷を見込む。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや 下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

5月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	29,672	378	357	379	399	茨城 18%
	26年	29,458	416	385	420	440	千葉 16%
	27年	30,811	425	425	434	416	青森 12%
	28年	29,889	443	446	455	430	熊本 12%
	29年	29,766	432	405	433	458	フィリピン 9%
	5カ年平均	29,919	419	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	30,700	410	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心におうとう、ももなどが入荷する。3月以降の好天や4、5月の高温の影響を受け、果実類は全体的に生育が前進している。また、メロン及びももなどでは肥大状況が前年より良い。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
その他メロン（アールスメロン以外）	25年	4,197	365	400	361	332	茨城 76%
	26年	5,407	340	359	342	319	千葉 10%
	27年	5,293	335	424	351	252	熊本 7%
	28年	4,788	375	420	369	336	メキシコ 2%
	29年	4,441	384	426	383	362	山形 2%
	5カ年平均	4,825	358	406	361	320	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,600	350	400	330	320	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	クインシー、アンデスは茨城、タカミは茨城、千葉中心に入荷する。生育は全体的に前進傾向で、肥大も良い。その分入荷量が増えること、また下旬にかけて他の果実と競合することで、価格は低下するか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
す	25年	8,661	207	215	212	196	千葉 38%
	26年	9,471	212	233	216	189	熊本 22%
	27年	10,346	194	245	191	154	茨城 19%
	28年	10,462	197	229	194	175	鳥取 11%
	29年	10,759	206	239	195	184	新潟 4%
	5カ年平均	9,940	203	232	202	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	11,100	200	230	190	180	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	大玉は千葉、熊本を中心に入荷する。また、鳥取の入荷が始まる。小玉は茨城を中心に入荷。大玉は、5月中旬の低温の影響により6月下旬にかけて一時的に減少するか。小玉は中旬まで順調に推移し、下旬にかけて減少する見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						

切花・鉢花の6月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月1日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	25年	1,575	48	
		26年	1,673	42	
		27年	1,789	39	
		28年	1,531	52	
		29年	1,798	38	
	5ヶ年平均	1,673	43		
	30年見通し	1,700	40		
概要	愛知、三重を中心に入荷する。夏秋系の品種に切り替わり、高冷地産の出荷も始まる。業務中心の動きで一般の動きは重い見込み。				
小 ぎ	実績	25年	1,172	33	
		26年	1,327	31	
		27年	1,461	21	
		28年	1,400	25	
		29年	1,401	22	
	5ヶ年平均	1,352	26		
	30年見通し	1,350	25		
概要	愛知、奈良、埼玉などから入荷する。県内の夏秋期産地の入荷も始まり、中旬以降の入荷量は安定してくる見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	25年	789	53	
		26年	1,037	41	
		27年	942	49	
		28年	964	43	
		29年	1,070	41	
	5ヶ年平均	960	45		
	30年見通し	1,000	42		
概要	長野を中心に愛知、岐阜、三重、和歌山から入荷する。本年は3月以降の陽気が良かったため、暖地から高冷地産地へのリレーがスムーズに行われ、6月の単価はそこそこ見込める。また、高冷地は若干の前進がみられる。				
か す み	実績	25年	133	79	
		26年	147	73	
		27年	127	86	
		28年	130	82	
		29年	105	93	
	5ヶ年平均	128	82		
	30年見通し	110	90		
概要	長野からの入荷が中心となる。和歌山、九州は中旬までで、福島は月の後半から入荷する予定。業務中心の販売で、数量は少なくなり、相場は強い見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	25年	397	119	
		26年	401	117	
		27年	355	141	
		28年	357	122	
		29年	340	143	
	5ヶ年平均		370	128	
	30年見通し		350	135	
概要	<p>オリエンタルは新潟、北海道など高冷地からの入荷が増加し、高知、九州は減少する。業務中心の販売で全体では厳しい情勢。LAは埼玉中心。中旬までは安定するが、その後は新潟からの入荷も増加し、中旬以降の販売は厳しい。鉄砲は高知、岐阜から入荷する。数量は少なめだが、業務の動き次第で相場は不安定となる。</p>				
洋らん	実績	25年	357	86	
		26年	367	90	
		27年	319	99	
		28年	369	77	
		29年	330	89	
	5ヶ年平均		348	88	
	30年見通し		330	88	
概要	<p>鹿児島、愛知、静岡の国内物や輸入物が入荷する。4、5月と洋らん類は全般的に低調だったが、6月は端境期あるいは移行期に入って入荷量も落ち着き、幾分市況は回復すると思われる。</p>				
ばら	実績	25年	945	50	
		26年	977	38	
		27年	897	53	
		28年	860	50	
		29年	838	52	
	5ヶ年平均		903	48	
	30年見通し		850	50	
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。温度が上がるにつれて、花卉の巻きが弱くなるため、高冷地産の引き合いが強まる。ブライダル需要はかなり少ないと思われる。</p>				
枝も	実績	25年	1,337	44	
		26年	1,472	42	
		27年	1,375	45	
		28年	1,314	45	
		29年	1,423	46	
	5ヶ年平均		1,384	45	
	30年見通し		1,400	45	
概要	<p>長野、岐阜を中心に入荷する。5月の天候が良かったため、前進傾向で6月は少なめとなる。人気商材のスマークツリー、ドウダンなどは堅調とみられる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	25年	21,385	922	
		26年	25,526	922	
		27年	22,928	997	
		28年	19,003	1,014	
		29年	18,392	1,017	
	5ヶ年平均		21,447	971	
	30年見通し		18,000	1,000	
概要	<p>入荷量は前年並か。作付けの大きな変更はなく、6号サイズが主体となり、4号サイズとしてはMIXでの入荷が多くなる見込み。色別では例年同様に赤、ピンクが主体になるとみられる。</p> <p>前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（94.5%）、2位岐阜（1.1%）、3位静岡（0.6%）となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	25年	22,204	3,121	
		26年	26,025	3,164	
		27年	26,347	3,078	
		28年	23,804	3,360	
		29年	23,351	3,474	
	5ヶ年平均		24,346	3,235	
	30年見通し		23,000	3,476	
概要	<p>入荷量は前年並か。作付けに大きな変動はなく、過去2年に近い入荷量となる見通し。ミディー系は減産傾向のため鉢数は若干減るが、平均単価は鉢数ほど下がる見込み。大輪系は毎年贈答需要減から単価を下げている。大輪ロングタイプの特に36輪以上は、近年販売苦戦しており、輪数調整ができる方は33輪や36輪の出荷維持を心がけてほしい。</p> <p>前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（58.4%）、2位静岡（8.0%）、3位宮崎（6.8%）となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	25年	29,421	210	
		26年	40,149	168	
		27年	26,664	225	
		28年	28,991	160	
		29年	27,758	162	
	5ヶ年平均		30,597	183	
	30年見通し		27,700	162	
概要	<p>入荷量は前年並か。気温の上昇とともに入荷量も減少したことが影響し、5月の入荷量は前年を大きく下回った。需要も落ち着き、販売面も厳しくなるので、より一層咲き前に注意して出荷をお願いしたい。</p> <p>前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜（60.9%）、2位愛媛（16.9%）、3位愛知（16.6%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドランジア	実績	25年	51,218	514	
		26年	66,926	560	
		27年	60,498	478	
		28年	60,623	478	
		29年	72,862	500	
	5ヶ年平均		62,425	507	
	30年見通し		63,000	550	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。6月は青の玉、ガクアジサイを中心に白玉の入荷も多くなる見込み。また近年、マジカルシリーズの生産が増えており、コーラルやレボリューションを中心に引き合いが強くなっている。各地区アジサイ祭りが開催されるため、8号から尺サイズの引き合いも強くなる見込み。</p> <p>前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(72.1%)、2位埼玉(7.9%)、3位群馬(6.3%)となっている。</p>				
スパティファイラム	実績	25年	20,927	281	
		26年	17,743	324	
		27年	21,235	269	
		28年	7,877	392	
		29年	12,557	291	
	5ヶ年平均		16,068	300	
	30年見通し		12,000	283	
概要	<p>入荷量は前年並か。メインの出荷が3～4号に移行していること、5号以上の生産が減少傾向にあることから、価格は下がると思われる。三重は3号メインの出荷となっており、愛知や岐阜は5号以上の生産もあるので、6月は5号以上の出荷量増に期待したい。</p> <p>前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(36.2%)、2位愛知(36.1%)、3位岐阜(18.5%)となっている。</p>				
ドラセナ	実績	25年	42,349	735	
		26年	41,480	753	
		27年	31,934	736	
		28年	25,529	744	
		29年	29,746	655	
	5ヶ年平均		34,208	727	
	30年見通し		29,000	655	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少か。愛知を中心に入荷は多いと思われるが、輸入原木の減少と他品目への作付け変更などもあり、数量は過去と比較して少なくなる見込み。</p> <p>前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(66.9%)、2位三重(9.2%)、3位沖縄(6.6%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.540
平成30年6月発行
農林水産部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434